

早い梅雨明けとともに列島を襲った猛暑！そして台風…気候変動の激しさに体がついていかないこのごろですが、皆さんはどんな熱中症対策をしておられるでしょうか。コロナもまだ予断を許さない状況ながら、伊都さんのコンサートは少しずつペースが戻ってきました。やはり、コンサート報告や予定がStrumに沢山載せられるのは、とてもうれしいことです！



近況報告

史上最速の梅雨明け、楽器も私も消耗の激しい日本の夏がやってきました。ラジオにて、御年 222 歳の楽器は気候や、奏者の気持ちなどを敏感に感じ取り、そして楽器はそれぞれ、年を重ねるほど、個性が明確になってくる、と話をしていますが、人も同じだなと感じています。

イギリス人は形容詞好きで、同じ言葉の使いまわしを嫌がると言われていて、Yes を、よく Absolutely (その通り) と表現します。先日久しぶりに英国王立学院の教授と話をした際、Absolutely Violin is the most sensitive creature! 世界で最も繊細な生き物! だから丁寧に接し、誠実に音を出してあげないといけない、と熱く語ってくれました。

少しずつコンサートが増えてきた今年、Absolutely we need music, ヴァイオリンの音色をもっともっと響かせ、たくさんの人に聴いてもらえれば嬉しいなと願いつつ、様々な場所で、演奏をしていきたいと思っています。

【伊都】

J.S. バッハ祭り 2022 春

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

4月3日、今年も横浜エアジン恒例バッハ祭りのトリを飾って伊都さんとお馴染みのピアニスト森田義史さんが登場しました。今年の選曲ポイントを伊都さんに聞きました。

恒例のバッハ生誕祭(バッハ祭り)ということで、毎年王道のバッハのヴァイオリンソナタを演奏していますが、今年は少し趣向を変えて、ヴァイオリンとピアノのためのソナタと、そしてそれ以降、ドイツ3大B、ベートーヴェン(スプリング)とブラームスのヴァイオリンソナタの弾き比べと聴き比べをしてみました。それぞれの違いと音色の違いが面白かったと好評でした。

コンサートは、ピアノのバッハ：平均律クラヴィーアにヴァイオリンでグノー：アヴェ・マリアを被せていくという演奏に始まり、3大Bソナタの聴き比べ、後半はピアソラのタンゴや超高速のディニク：ひばりなどノリのいい楽しい曲を聴かせてくれました。アンコールはG線上のアリアにチャールダッシュ。ライブハウスらしい近い距離間で、お客様はもちろん、配信の画面の前でも拍手に沸いたに違いない夜でした。





森田義史さん
Home Town



ヴァイオリンとピアノの名曲コンサート

5月1日、いつもアウェイの横浜に来て下さる、ピアニスト森田義史さんのホーム、埼玉でのコンサートに出演し、タイスの瞑想曲、ベートーヴェンのピアノソナタなどを披露しました。以下、伊都さんの報告です。

高校の同級生ピアニストの森田君と彼の地元、熊谷の老舗デパートの150周年記念イベントの一環のコンサートで弾かせて頂きました。たくさんのお客さんに聴いて頂いて、日頃ヴァイオリンを聴かない方からヴァイオリンの音も良いと言っただけなのが嬉しかったです。

第60回記念 日本現代工芸美術展 ギャラリーコンサート

6月26日、神奈川県民ホールに日本の工芸界を代表する作家の作品や、全国公募の受賞作品が並ぶ中、伊都さんとピアニスト森田義史さんがギャラリーコンサートに招かれました。

モーツァルト、フランクのヴァイオリンソナタやバッハとイザイの無伴奏ヴァイオリンソナタの弾き比べ、などを現代アートとコラボ、歴史ある美術展に格調高い花を添えました。



今後のコンサート予定 詳細については時期が近づきましたらホームページでお知らせ致します。

- 10月 Wiener Wind 後援会主催 ユニオンチャーチコンサート
今年もやります！日程は感染状況も見ながら、決まり次第ご案内しますので、今しばらくお待ちください。
- 12月11日(日) 第19回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル みなとみらいホール小ホール
やっぱり年末はこれ！ホールは大規模改修工事を終え、どのようにリモデルされたのか楽しみです。
- 12月24日(土) 熊谷 八木橋百貨店8階 カトレアール
好評につき、今度はクリスマスに再び招待されました。

編集後記 感染拡大で身動きがとれなかった昨年、一昨年に比べると、伊都さんの音楽活動も復活の兆しが見え始めました。猛暑の夏にもマスク生活はまだしばらく続きそうですが、美味しいものを食べて、洋服を選んで、旅行に出かけて…日常の楽しみも少しずつ戻り、その一つ一つに以前感じていた以上の喜びを感じます。家の中で楽しむことも以前より上手になった気がします。音楽を聴いてリラックスすることも大切な習慣です。/ 疫病、災害、戦争…何が起るかわからない世の中で、不安ばかり感じているわけにはいかない！という、人間の底力を感じるこのごろです。 <ゆ>

発行：加納伊都後援会 TRAU BEN
〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15
TEL：045-622-6780
FAX：045-621-6423
Email：trauben@itokanoh.com
Homepage：itokanoh.com